

サカタ流 イクメン育成の取り組み

家庭環境の充実と
職場のチーム力アップをめざして

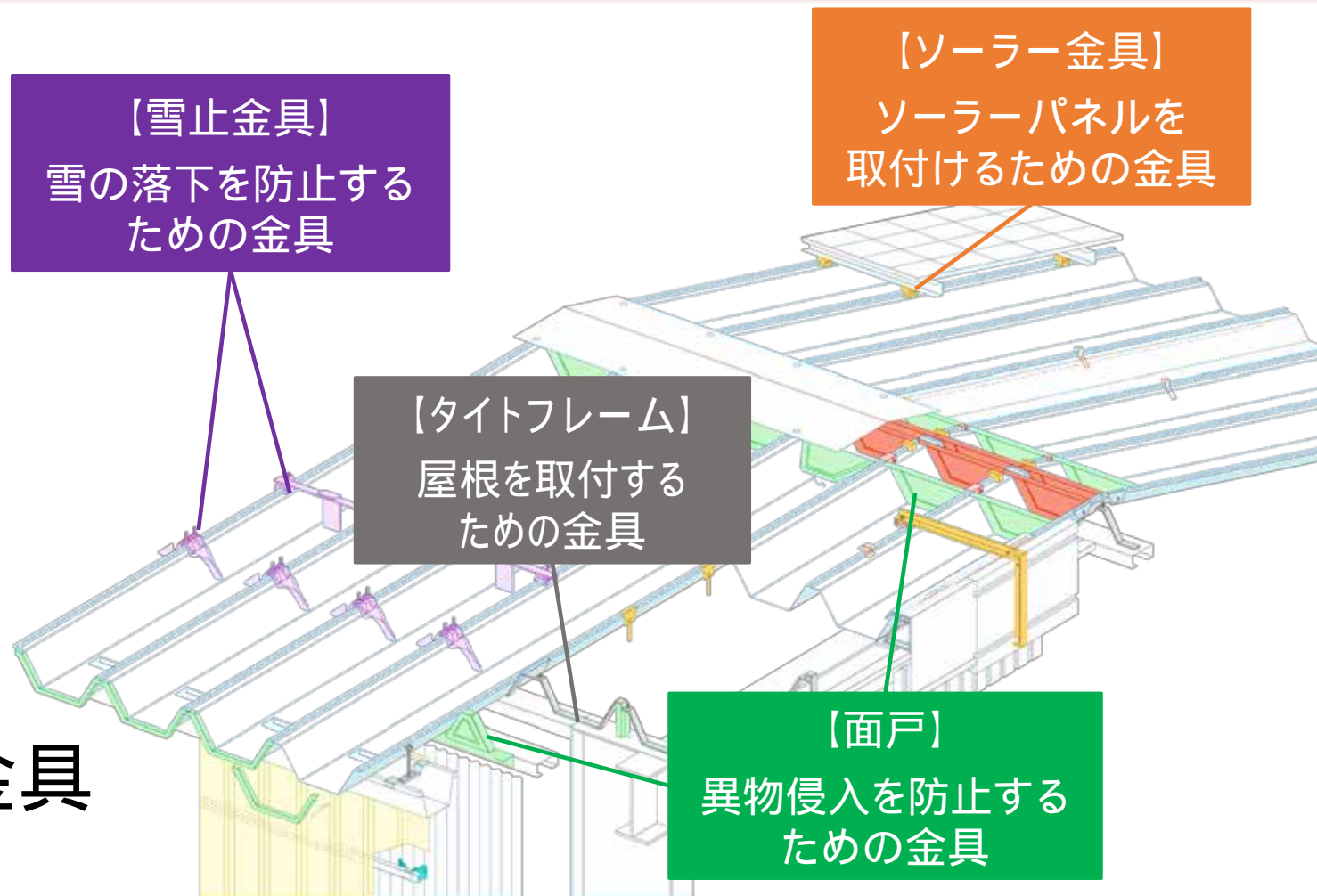




サカタ製作所はこんな会社

創業	1951年9月1日
設立	1973年1月24日
資本金	1,320万円
売上高 (2018年)	43億3,603万円
従業員数 (2018年)	151名

サカタ製作所の屋根金具





男性の育休取得者が100%に

対象：男性社員	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
育休を取得した男性社員	0	2	0	4	6	1
子供が生まれた男性社員	1	3	3	8	6	1
育休取得率	0%	66%	0%	50%	100%	100%



イクメン企業へ6つのステップ

1

休めない現状の把握

2

方針の明確化

3

しくみの構築

4

不安解消のためのフォロー

5

イクメンを称賛

6

育休の効果確認

1 休めない現状の把握



チーム内の休めない雰囲気

- ・自分の仕事が忙しくて休めない
- ・みんな忙しいのに、迷惑がかかる



- ・収入が減るし、生活ができない
- ・休めばたぶん評価が下がるだろう

いろいろな不安



社長から全社員に
熱いメッセージ

業績が落ちても構わない！

・育休を取得した社員
・育休取得を推進した管理職を高く評価する！

会社方針を説明

担当取締役から直属の上司と本人に
14日以上の子育休を取得するよう説得

総務から制度を説明

育休・短時間勤務など制度の説明

実施期間や引き継ぎ

属人化解消につながるトレーニング
業務の棚卸で無駄な作業をなくす

育休に対する
意識が変わる



お得な情報をきちんと伝える



育休期間に月末日が含まれると
その月の社会保険料が免除されるよ

土曜日曜分も育児休業給付金はもらえるよ

生後8週間以内に育休をとれば、もう1回育休をとれるよ（パパ休暇制度）

新潟県はイクメン応援企業補助金があって、あなたと会社もお得なんだよ！
（本人と会社に50,000円支給）

収入のシミュレーションと家庭環境 会社稼働状況を勘案して決定

育休期間	現状	11/2 ~ 11/15	11/17 ~ 11/30
育休日数/欠勤日数		14 / 9	14 / 10
給与支給額	253,689	142,114	129,629
保険料等控除	53,403	51,468	14,788
補助金収入	0	168,979	168,979
手取り	200,286	259,625	283,820
ポイント	育休をとると、59,000も収入増！ さらに、月末が含まれると、83,000の収入増！		

4 不安解消のためのフォロー

家族が幸せになる真のイクメンになるために奥さんの気持ちを知ってもらう。



- △ やってほしかったこと
家事全般。寝かしつけ。離乳食作り。ひとりの時間がほしい。
週末だけでも夜泣き対応変わってほしかった。
- ✕ やってほしくなかったこと
夜泣きの時、「早く泣き止ませて〜」って嫌そうな顔で言われ100万回くらい大きな声で怒鳴ること。赤ちゃんが眠っている時に音をたてる。
「言ってくればやるよ」と言われ、嫁の仕事という概念があるのが納得。「やっぱりママがいいんだよ」と言う前にあの手この手で対応してほしかった。

お子さんが大きくなった今、旦那さんに

- やってもらって嬉しかったこと、助かったこと
家事。読み聞かせ。保育園の送迎。学校行事への参加。子供と留守番だったのでどちらも成長しました)ご飯づくり。学習面のサポート。アウトドアの週末の遊び相手。家事や自分の用事を済ませたいときに子供とでかけて育児に積極的なので子供たちも父親に頼ってくれる。(あれもこれも) やってほしかったこと
寝かしつけ。激しい遊び。途中で飽きずにもっと子供と遊んであげたい。男同士でしかできない話もあると思うので、じっくり話を聞いてあげてほしい。自分のことは自分でやってほしい。「俺のシャツは？靴下は？」タンスに入っている服を自分で着替えさせてほしい。どちらかが育児をしている間はどちらかが家事をし、その日やることを最短で済ませたい。
- ✕ やってほしくなかったこと
スマホやタブレットと一緒にゲームをすること。良い子や悪い子というのは控えてほしい。子供が話しかけているときにスマホばかり見て子供の顔を見ないこと。

育児で旦那さんに
 やってもらってうれしかったこと
 やってほしかったこと
 やってほしくなかったこと
社内報で特集

5 イクメンを称賛



イクボ

あなたは職場で
ワークライフ
キャリアと人
仕事と育児を
職場環境の整備
ここにそのチー
深い愛情と優し
します

平成29年
株式会社サカタ
代表取締役

イクメン表彰

「サカタイクメン表彰2016」のノミネートを行います。
イクメンとは、積極的に子育てを楽しみ、自らも成長する男性のことです。

■ 応募・推薦要項
白籍、他職問いません。あなたの知っている「イクメン」社員をご紹介ください。
表彰対象は、サカタで働く男性労働者全員です。（役員は除きます）
ご応募、推薦は総務経理課宛にメールまたは口頭でご連絡をお願いします。
ノミネート期間は11月15日（火）～11月22日（火）です。

■ 表彰について
ノミネートされた方の中から、表彰者を若干名選考し、11月26日（土）の
全社集会で表彰いたします。

推薦理由の例

- 毎日の子どものお風呂や寝かしつけは私が担当。私こそイクメンです！ OK
- ○○さんは、育児で忙しい奥さんに代わって洗濯や掃除を担当してみたい OK
- △△課長は、私たち部下の育児と仕事の両立に理解があり、
育児を理由とした突発的な休みに対応できるよう業務の属人化改善に熱心です OK

本表彰は、サカタが新潟県イクメン応援宣言企業に登録されたことを受け、
子育てや家事に積極的にチャレンジする男性労働者や、男性が育児と仕事を両立しやすい
職場環境の整備に取り組むリーダーを、会社の模範として表彰するものです。

総務経理課

育休 **16日**



子育ての大変さを実感

仕事の引き継ぎは上司がすぐに担当者を決めてくれたので不安なく休めた。

子育ての大変さを実感し、今後はどんなことでも妻と協力していきたいと考えるようになった。

育休 **23日**



娘の日々の成長を妻と共有できるのが嬉しい。私も妻も親として成長できたように思う。

繁忙期にも関わらず、育休を快諾してくれた上司や同僚への感謝の気持ちから、もっと仕事を頑張ろうと気が引き締まった。

チームワークの向上

今後の取り組み

パタハラ連鎖

「俺らの時代は家庭を犠牲にして働いたんだ。」という上司が、この働き方を正当化し、無意識のうちにパタハラとなる



管理職だけでなく、全社員に対して、パタハラ研修を行い、意識を変える

育休パパゴロゴロ問題

育休中の父親が育児に関心が無く、逆に妻のストレスの原因になっている



妻の「育児ありがとう体験」をもとに、育休をとる前に「イクメン教育」を行う

名もなき家事

晩御飯の献立を考える、洗った食器を戻す・・・など精神的なストレスが夫の7倍もあるといわれている



普段の家事の大変さを教育し、「育休だけのイクメン」から「真のイクメン」に